

シラバス〔技術・家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学 1 年	グローバル選抜探究 未来探究	技術・家庭	技術・家庭	2
教科書・教材				
『新しい技術・家庭 家庭分野』 東京書籍 『新しい技術・家庭 技術分野』 東京書籍 「家庭科ワークノート 衣生活・住生活」 地域教材社				

授業のねらい（年間指導目標）		
生活に必要な基礎的知識や技術を学びます。そして自らが実際の生活の状況や環境の中でグローバルな視点で課題を見つけ、工夫し、解決していく力（知識・技能）を身につけることを目標とします。		
授業の進め方（年間指導計画）		
	家庭分野	技術分野
1 学期	＊衣服の社会生活上の働きについて理解する どうして衣服を着るのだろう 着方の工夫 日本の衣文化 浴衣の着方 衣生活に関する基礎技能	iPad の操作及び基礎知識 各種アプリケーション設定 材料と加工の技術
	被服製作実習 (手縫い)	製作品の設計
2 学期	＊目的に応じた購入方法を考え、表示を読み取り適切に洗濯できる 必要な衣服の洗濯・手入れ 被服製作実習（ミシン縫い）	生物育成の技術
	よりよい衣生活を目指して	WEB サイト制作の基礎構築 V-Code を活用したプログラミング
3 学期	＊住まいの基本的な役割と家族の生活と住空間の関わりについて 住まいの役割と安全な住まい方	情報技術の原理
評価方法		
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。		

備 考

シラバス〔技術・家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学 2 年	グローバル選抜探究 未来探究	技術・家庭	技術・家庭	2

教科書・教材

『新しい技術・家庭 家庭分野』 東京書籍
『新しい技術・家庭 技術分野』 東京書籍
「家庭科ワークノート 食生活」「家庭科ワークノート 家族・家庭生活」 地域教材社

授業のねらい（年間指導目標）

生活に必要な基礎的知識や技術を学びます。そして自らが実際の生活の状況や環境の中でグローバルな視点で課題を見つけ、工夫し、解決していく力（知識・技能）を身につけることを目標とします。

授業の進め方（年間指導計画）

	家庭分野	技術分野
1 学期	＊生活の中で食事が果たす役割について 食事の役割を考えよう 栄養素の種類と働きを知ろう 中学生に必要な栄養	材料と加工法
	調理実習 食品に含まれる栄養素	製作品の設計
2 学期	＊中学生に必要な栄養の特徴について 何をどのくらい食べれば良いか考えよう バランスのとれた食生活を考えよう	情報セキュリティ 社会の発展とエネルギー変換の技術
	食品の選び方 生鮮食品・加工食品について 地域の食文化を知ろう 調理実習	WE B サイト制作の基礎構築
3 学期	＊自分や家族がになう家族・家庭の機能を 考え、生活を工夫できる 家庭や家族の機能について考えよう 中学生としての自立を考えよう 家庭生活と地域の関わり	エネルギー変換 LEGO マインドストームを活用したプログラミング

評価方法

定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。

備 考

シラバス〔技術・家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学 3 年	未来探究	技術・家庭	技術・家庭	1
教科書・教材				
『新しい技術・家庭 家庭分野』 東京書籍 「家庭科ワークノート 家族・家庭生活」 「家庭科ワークノート 消費生活・環境」 地域教材社				

授業のねらい（年間指導目標）	
生活に必要な基礎的知識や技術を学びます。そして自らが実際の生活の状況や環境の中でグローバルな視点で課題を見つけ、工夫し、解決していく力（知識・技能）を身につけることを目標とします。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	* 幼児の体や心の発達の特徴について - 幼児の心と体の発達 - 幼児の生活習慣 - 赤ちゃん人形を使った実習 - 幼児の生活と遊び - おもちゃ作り - 子どものおやつ作り（調理実習）
2 学期	* 消費生活を振り返り、多くの消費行動について - 消費者としての自覚を持とう - 商品購入のシミュレーション - 消費者トラブルの解決方法を考える - 販売方法と支払い方法 - 商品の選択と購入 - 消費者の権利と責任
3 学期	* 消費行動を振り返り、消費生活を工夫できる - よりよい消費生活を目指して - エネルギー消費と環境 - 持続可能な社会を目指そう - 私たちにできること
評価方法	
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。	

備 考

シラバス〔家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 2 年	グローバル選抜探究	家庭	家庭基礎	2
教科書・教材				
『家庭基礎』 気づく力 築く未来 実教出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
家族や家庭の基本的な機能や、生活をよりよくするために必要な衣食住、消費・環境などについての基礎的な知識を習得し、それに係る技能を身に付ける。また、自身の生活を見つめ、グローバルな視点で課題を見つけ、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うことを目標とします。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	＊健康で充実した生活に何が必要か考え、目標に向けて一步を踏み出せるようになる これからの人生について考えてみよう 自分らしい生き方と家族 ライフキャリア ＊子どもが育つ力を理解するとともに、親として、社会で生きる一人として、子どもや子どもをとりまく環境とどう向き合っていくのかを考える 子どもとかかわる 子どもの発達と生活 高齢者とかかわる 共生社会
2 学期	＊世界の食生活の違いや食の多様性について理解する 食生活をつくる 栄養と献立 調理実習（一汁二菜の食事） ＊快適に過ごすための衣服材料の特徴や衣服管理、環境とのかかわりなど、生活において必要な知識・技術を習得する 衣生活をつくる 被服実習 ～基礎縫いを用いた作品作り～
3 学期	＊住まいは多種多様な住まい、住まい方がある。「住まい」「人が住む」ことについて理解する 住まいを計画する（平面計画） 快適な室内環境 ＊主体的な消費行動とはどういうことか、多角的に考える 消費行動を考える 将来のライフプランニング
評価方法	
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。	

備 考

シラバス〔家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 2 年	選抜 未来探究	家庭	家庭総合	2
教科書・教材				
『家庭総合』 実教出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
家族や家庭の基本的な機能や、保育、食生活、消費生活についての基礎的な知識を学びます。生活をよりよくするために自分の生活の中での課題をグローバルな視点に立って見つけ、将来の生活に向けて工夫し、実践できる力（知識・技能）を習得します。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	＊健康で充実した生活に何が必要か考え、目標に向けて一步を踏み出せるようになる これからの人生について考えてみよう 自分らしい生き方と家族 ライフキャリア ＊子どもが育つ力を理解するとともに、親として、社会で生きる一人として、こどもや子どもをとりまく環境とどう向き合っていくのかを考える 子どもとかかわる 子どもの生活 調理実習（幼児食）
2 学期	＊世界の食生活の違いや食の多様性について理解する 人と食物のかかわり 私たちの食生活 調理実習（計量・用具の扱い方・一汁二菜の食事） 栄養と食品 食品の選び方と安全 調理実習（洋食・中華献立） これからの食生活を考える
3 学期	＊主体的な消費行動とはどういうことか、多角的に考える 消費行動を考える 暮らしと経済 家計と経済のかかわり 将来のライフプランニング 人生設計とお金
評価方法	
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。	

備 考

シラバス〔家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 3 年	選抜 未来探究	家庭	家庭総合	2
教科書・教材				
『家庭総合』 実教出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
衣生活・住生活・高齢者・社会福祉分野を中心に学習します。生活をよりよくするために自分の生活の中でのグローバルな視点に立って課題を見つけ、将来の生活に向けて工夫し、実践できる力（知識・技能）を習得します。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	＊健康で充実した生活に何が必要か考え、目標に向けて一步を踏み出せるようになる これからの人生について考えてみよう 高齢者への理解（心身の変化・生活）高齢者の自立を支える 社会保障制度の仕組み ＊快適に過ごすための衣服材料の特徴や衣服管理、環境とのかかわりなど、生活において必要な知識・技術を習得する 衣服素材と手入れの方法衣服製作に必要な道具 基礎的な衣服作品の製作
2 学期	＊住まいは多種多様な住まい、住まい方がある。「住まい」「人が住む」ことについて理解する 人間と住まい日本の住まいと世界の住まい 住まいの文化生活様式と住まい ライフステージと住まい 住まいの計画～平面計画シュミレーション～健康に配慮した快適な室内環境 安全な住まいについて考えよう
3 学期	環境にやさしい持続可能な住まい 防災と減災を考える
評価方法	
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。	

備 考

シラバス〔家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 3 年	選抜・未来探究	選択	選択 フードデザイン	2
教科書・教材				

授業のねらい（年間指導目標）	
家庭総合で学習した内容をさらに深めるかたちで、食品・栄養素の特徴、病態と栄養、調理実習などを学習します。世界の食文化を通して国際理解を深めていきます。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	計量の基本・器具の扱い方 （計量スプーン、計量カップの正しい使い方） 基礎的な切り方の練習 （半月切りの練習） 食品の食べ合わせ （昔からのものと現代の科学を活かして） 基礎的な調理技術の調理実習 （中華料理、日本料理の一汁三菜の献立） 病態と栄養
2 学期	基礎的な調理技術の調理実習 （日本料理の一汁三菜の献立） 各国の料理の特徴（風土・歴史的な側面から） 基礎的な調理技術の調理実習 （西洋料理の一汁三菜の献立） 各国の料理のマナー （調理実習を通して学ぶ）
3 学期	献立作成と調理実習 （各班で考えて、献立から調理実習まで）
評価方法	
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。	

備 考
実習費が必要です

シラバス〔家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 3 年	選抜・未来探究	選択	選択 生活と福祉	2
教科書・教材				

授業のねらい（年間指導目標）	
ハンディのある方、高齢者、子どもの特徴や状況を理解し、グローバル的にも全ての人がよりよく暮らせる地域・社会を目指す態度を養う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	福祉に関わる職業調べ 発表まで 車椅子体験 （講師の先生の講義と実習） 手話体験 （講師の先生の手話・指文字を使つての実習）
2 学期	認知症について調べ学習 発表まで 認知症講座受講 （講師の先生の講義と実習） 高齢者の食事の特徴 高齢者向けの調理実習 高齢者向け健康体操 （講師の先生の講義と実習） メイクセラピー （講師の先生の講義と実習） 児童福祉について 絵本の読み聞かせ講座 （講師の先生の講義と実習）
3 学期	子どものおもちゃ作り （簡単な手縫い作品）
評価方法	
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、実習の取り組み方（意欲・態度）・レポートなどを総合的に評価する。	

備 考
実習費が必要です

シラバス〔家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 3 年	選抜・未来探究	選択	選択 保育基礎	2
教科書・教材				
『保育基礎 ようこそ、ともに育ちあう保育の世界へ』（教育図書）				

授業のねらい（年間指導目標）	
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び、子どもの福祉と文化について理解し、それに関連する基礎的な技術を学ぶ。また、世界の絵本を通し、グローバルな視点での国際理解を深めていくことを目標とします。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	子どもの発達の特性 発達と環境 身体発育と運動機能の発達 保育技術実習（保育人形を用いた実習） 乳幼児期のからだの発育 乳幼児期の発達の特徴 人間関係の発達 心の発達 保育技術実習（沐浴など保育人形を用いた実習）
2 学期	子どもの健康と生活 子どもの食事・幼児食の調理 子どもの衣服 子どもの遊びと生活 保育技術実習（幼児の遊び・おもちゃの製作など） 子どもの健康管理
3 学期	子どもの福祉と子育て支援
評価方法	
定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。	

備 考
実習費が必要です

シラバス〔家庭科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 3 年	選抜・未来探究	選択	選択 ファッション造形基礎	2
教科書・教材				

授業のねらい（年間指導目標）	
被服構成の基礎、被服材料の種類や特徴などに関する知識と、ミシンや手縫いの基本的な技術を習得する。また、簡単な衣服を製作することを通して、衣生活の自立に必要な知識・技能を身につける。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	被服実習に必要な用具の使い方 基礎縫いの練習（なみ縫い・まつり縫い・半返し縫い） ミシンの基本練習 簡単な基礎縫い作品（ポケットティッシュケース）の制作 簡単な日常着の製作 被服の機能と着装
2 学期	簡単な日常着の製作 被服の立体構成と平面構成 被服材料の性能と選択
3 学期	簡単な手芸品の製作
評価方法	
被服実習作品の内容、定期考査（A 基本問題 5 0 点、B 標準問題 3 0 点、C 発展問題 2 0 点）、提出物（課題プリント、ロイロノートでの課題を含む）、授業時の取り組む姿勢（意欲・態度）などを総合的に評価する。	

備 考
実習費が必要です